



国は補聴器購入への公的補助の制度化を

年金者組合大阪府本部 補聴器助成推進・支部学習交流会

日時 2023年2月22日(水) 13:30~16:00 会場 大阪グリーン会館2階ホール

てびきを元に説明する林洋司府本部執行委員

◆富田林支部
 請願書を社保協・新婦人と共同で提出、全会一致で可決。「聞こえに関するアンケート」を実施

これからの様に取り組むのか。補聴器助成推進を大阪府内全ての市町村で取り組み、もつと多くの年金者の意見や声を聞く。社保協・生健会・民商等他団体と共同して社会全体で大きなうねりを作りだし自治体はもとより国へ制度としての創設を求める運動を拡げていくことが喫緊の課題です。

◆高槻支部
 市民だけの意見書採択は難しい。現在市長への直訴を重点に取り組んでいる。「補聴器アンケート」を実施したが3割の回答だった。他団体と共同して運動を拡げていく。

◆松原支部
 以外にも自民党が賛成に回り助成制度が、採択された。(維新は反対)次に他団体と共に市長あてに市独自の補助をもとめる要望書を提出。

支部実践報告

●貝塚市
 ①国への意見書採択自治体 ●池田・摂津・吹田・交野・松原・富田林・泉大津市 ②市町村独自の助成制度採択自治体 ●松原・富田林市 ③市町村独自の助成制度実施自治体

質疑応答

大阪の請願状況
 林洋司執行委員が、てびきを元に国・自治体・議会・団体等の動き、認定補聴器技能者をもつと増やす事、今東京がリードしていると解り易く丁寧に説明されたので短くても貴重な時間でした。

てびき説明

弥生間近の2月22日13時30分~16時まで上記の会場にて補聴器助成推進支部学習・交流会を48人の参加で開催しました。挨拶で加納忠委員長は、加齢性難聴で困っているにもかかわらず大勢の高齢者が声を上げられずにいると話されました。

てびき説明

林洋司執行委員が、てびきを元に国・自治体・議会・団体等の動き、認定補聴器技能者をもつと増やす事、今東京がリードしていると解り易く丁寧に説明されたので短くても貴重な時間でした。